

平成26年10月6日
住友生命保険相互会社

「イクメン企業アワード2014」特別奨励賞を受賞

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は、厚生労働省が主催する「イクメン企業アワード2014」において、特別奨励賞を受賞いたしました。

当社では、平成19年度より全社的な事務手順の均質化や業務効率の向上を目的とした「業務プロセス改革」を開始し、業務内容の効率化の取組みを進めてまいりました。また、平成20年度より、子どもの産まれた男性職員およびその上司に対して育児休職の取得を勧奨する運営を開始し、男性の育児休職取得者数は大幅に増加しております。このたびの受賞は、これらの一連の取組みを評価いただいたものと考えております。

今後も、職員が働きやすく働きがいのある環境整備に取り組み、職員一人ひとりが自己の持てる意欲・能力を最大限に発揮することで、お客さまからみて「一番薦めたい保険会社」を目指してまいります。

1. 「イクメン企業アワード2014」の概要

厚生労働省が2013年より、働きながら安心して子どもを産み育てることができる労働環境の整備を推進するため、男性の育児参加を積極的に促進しつつ業務改善を図る企業を表彰する制度です。今回受賞した特別奨励賞は、「男性労働者が育児と仕事との両立支援を促進する取組みを積極的に行い、工夫している企業」が表彰されるものです。

【厚生労働省 発表資料】

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000060031.html>

2. 男性職員の育児と仕事との両立支援に向けた当社の取組み

- ・平成19年度より、全社的な事務手順の均質化や業務効率の向上を目的とした「業務プロセス改革」を開始。その一環として、遅くとも20時までの退館をパソコン利用時間制限も行いながら推進。
- ・管理職の意識改革を目的としたワークライフバランスに関する講演会を定期的に開催。
- ・男性の育児休業取得者増加に取組み、取得者が大幅に増加（平成22年度6人⇒平成25年度39人）。
- ・平成26年8月には、東京・大阪本社に勤める男性職員を主な対象として、育児と家事に理解を深めることを目的とした「イクカジBINGO※」を実施。

※「イクカジBINGO」は、「オムツ替え」や「洗濯」といった育児・家事を同居配偶者と相談し縦横3列のマス目に記入したうえで、各週ごとに記入した育児・家事を実施した場合にマス目をうめてビンゴを目指す運営です。

以上